

奈弓連だより

通巻 284 号

令和 7 年 10 月号
発行 奈良県弓道連盟
会長 阪中計夫
編集担当 松澤和実 中西省五
連絡先: henshu@narakyudo.jp

第 79 回国民スポーツ大会 弓道競技会 少年女子が近的 3 位、遠的 5 位に入賞！



後列左から 阪中会長、藤井真生コーチ、
関本選手、雑賀選手、村井選手、澤一彦監督、藤岡理事
長、

前列左から 綿松総務部長、村山選手、太田選手

わた SHIGA 輝く国スポ 第 79 回国民スポーツ大会弓
道競技会が 9 月 28 日から 10 月 1 日に滋賀県彦根市の
プロシードアリーナ HIKONE において開催されました。
奈良県から出場の少年女子は、28 日近的予選において
21 中 (24 射中) というトップの成績で予選を通過。翌
29 日の遠的では予選で上位 8 チームに残り、トーナメ
ント 1 回戦では敗退しましたが、5～8 位決定戦 (各 2
射計 6 射) は 5 中 29 点で 5 位入賞を果たしました。
30 日の近的決勝トーナメントでは、1 回戦 9 中対 8 中
で勝ち、準決勝 7 中対 9 中で惜しくも敗れ、3・4 位決
定戦では 5 中 (各 2 射計 6 射) で 3 位入賞を勝ち取り
ました。

【選手、監督のコメント】

・関本 恋奈 (郡山高校)

今までにない、自分のため以上に仲間のために引く経
験ができたと同時に、自分の未熟さを知ることができ
ました。

・雑賀 心紗希 (桜井高校)

高校弓道最後の大会なので、爪痕残して帰りたいかつた
のはもちろんですが、顧問の布施先生が教えてくれた
技術で最高の的中で終わりたいと思って引きました。

昇段おめでとうございます

10 月の近畿地域連合審査会において次の方々
が昇段されました。

(10 月 5 日開催 奈良県橿原公苑弓道場)

五段

片山	智子さん	(奈良支部)
羽根	昂希さん	(生駒支部)
瀬戸	雅弘さん	(生駒支部)
太田	麻由さん	(郡山支部)
竹内	洋さん	(郡山支部)
西田	友樹さん	(橿原支部)
富永	望さん	(橿原支部)
松田	靖子さん	(鎌弓会支部)
鷗岡	義人さん	(五條支部)

おめでとうございます。 (事務局)

・村井 唯夏 (郡山高校)

国スポという大きな舞台で弓を引くのはとても緊張
しましたが、後悔のない射ができるよう、一本一本を
大切に試合に臨みました。

・太田 明里 (法隆寺国際高校)

国スポという大きな舞台で、サポーターとして選手を
支えることと、活躍を間近でみるのができてとても
うれしいです。

・村山 希実 (橿原高校)

支える立場で貴重な経験をさせていただいたので、来
年は必ず選手として近畿ブロック、本国スポに出場し
たいと思いました。

・澤 一彦 (奈良北高校教員)

選手の素晴らしさは言うまでもありませんが、サポー
トの控え選手やコーチの藤井先生をはじめ国スpos
スタッフ全員で臨んだ結果だと思います。県連盟の方々
や滋賀県高体連の先生方にも大変お世話になりました。
皆様の応援も大きな力になりました。ありがとうございました。
(高体連 布施 慈人)

第 79 回国民スポーツ大会

わた SHIGA 輝く国スポ 2025 競技役員として参加

9 月 28 日（日）～10 月 1 日（水）に彦根市のプロシードアリーナ H I K O N E（彦根市スポーツ・文化交流センター）で行われました第 79 回国民スポーツ大会・わた SHIGA 輝く国スポ 2025 へ阪中会長・藤岡理事長・総務部長綿松の 3 名が競技役員として参加いたしました。



奈良県 3 名はともに遠的担当で阪中会長は射場審判を、藤岡理事長と私が的前審判を務めさせて

いただきました。判定のひとつひとつが非常にプレッシャーのかかるものでしたが、開催に備えて何度もシミュレーションを重ねてこられた滋賀県の競技役員の方々のサポートにより無事終えることができました。

また、明瀬・白井・松村副会長が 9 月 29 日～30 日の期間で 2031 年の奈良県開催に向けての視察を行っていただきました。今回はアリーナ会場での開催となりましたが、会場設備や選手・役員の動線など様々な部分を見て回っていただきました。



地元の中学校の皆さんが各県への応援旗を作成して歓迎してくれます



選手控え それぞれの県の応援旗を掲げて

（事務局 綿松 昭寛）

第 49 回近畿地域弓道大会

男子・女子ともに団体優勝

男子個人では西田選手が優勝、4 位に中川選手

まだ酷暑の名残のある 10 月 13 日（月・祝）、京都武道センターに於いて第 49 回近畿地域弓道大会が開催されました。京都の千田先生の矢渡しの後、競技開始。粛々と進むなか自分の行射の時以外は観覧席での応援です。的中毎には拍手ですが、皆さんご自身の府県の選手の的中には特に熱がはいり惜しみない拍手が上がりました。

・女子団体優勝

石田光恵選手より

男女団体、男子個人とも優勝という成績を前にして閉会式で競技委員長が開ロ一番「奈良県にやられた」と言われた時には競技時の緊張も解け思わず頬が緩みました。県外大会初参加の私はチームを組んでくださった先生方、競技中サポートしてくださった方々のおかげで貴重な経験をさせていただけた 1 日となりました、ありがとうございました。



鷺尾選手、石田選手、白井選手

・女子団体 3 位入賞

猪原句子選手より 明瀬先生からピンチヒッターの命を受けドキドキでしたが、入賞することができて本当に嬉しいです。チームの皆さん、応援してくれた弓友に感謝です。ありがとうございました。



吉野選手、猪原選手、柴島選手

・男子団体優勝

今西達也選手より

当日の試合会場で、他府県は国スポの選手がたくさんいて「今回は厳しいな」と思っていました。試合前日は調子がかかなり悪く、当日どうしようかなと思っていたところ皆中でできて一安心。

私自身、近畿大会で2018年以来、7年ぶりに団体優勝をする事が出来ました。



中西選手、西田選手、今西選手

・男子個人 優勝 および 3位入賞



優勝 西田選手、3位 中川選手

表彰式の様子



(鍊弓会支部 石田 光恵)

第22回中高交流会

弓を通して中高の交流を深める

9月14日(日) 橿原公苑弓道場において標題の大会が開催されました。

参加チームは下記の通り

男子 高校16校 16チーム、中学 8校 9チーム
 女子 高校16校 16チーム、国スポ女子 1チーム
 中学 8校 12チーム
 (高校は各校1チーム、
 中学は各校4チームまで参加できる。)

<予選> (3人立、各自8射 チーム24射を引き、
 高校3チーム中学6チームが通過)

高校男子

15中 高田商業
 14中 奈良北
 13中 奈良

高校女子

19中 桜井
 14中 国スポ女子
 14中 橿原

中学男子

10中 橿原中・青翔中
 9中 大成中A
 8中 国際中
 6中 香芝B
 5中 香芝A

中学女子

10中 香芝A
 8中 国際B
 7中 橿原A
 6中 国際A、香芝B
 5中 国際C

<決勝トーナメント>各自4射 チーム12射の巴
 (3射場のうち第2射場が高校) (太字が勝ち)

・1回戦

男子

第1射場	第2射場	第3射場
国際中	0中・奈良	4中・ <u>青翔中</u> 6中
香芝中B	2中・ <u>奈良北</u> 6中	・橿原中 5中
<u>香芝A中</u> 6中	・高田商業 5中	・大成A 3中

女子

第1射場	第2射場	第3射場
香芝中B	2中・橿原	6中・ <u>香芝中A</u> 8中
国際中A	4中・ <u>国スポ女子</u> 9中	・国際中B 2中
国際中C	3中・ <u>桜井</u> 8中	・橿原中A 2中

<決勝>

男子

1位	奈良北高校	10中
2位	香芝中学A	5中
3位	青翔中学	2中

女子

桜井高校	10中
国スポ女子	7中
香芝中学A	3中



(高体連 布施 慈人)

第 44 回全国高等学校弓道選抜大会兼第 33 回近畿 高等学校弓道選抜大会県予選(橿原公苑弓道場)

9月21日(日)団体1次予選が行われました。

決勝は11月2日(日)

各自12射 団体は3人立 計36射

上位8校が予選通過

男子団体

28中	橿原
24中	高田商業
21中	畝傍
20中	法隆寺国際
	奈良北
19中	県立大附属
17中	五條
16中	奈良

女子団体

24中	桜井
18中	県立大附属
	国際
	奈良高専
17中	法隆寺国際
	奈良
	橿原
16中	五條

(高体連 布施 慈人)

皇后杯 第58回全日本女子弓道選手権大会 一射ごとに伸び合うために

9月19日(金)～21日(日)に天皇杯および皇后杯が東京の明治神宮内の全日本弓道連盟中央道場において開催されました。各都道府県で予選、各地区でさらに予選を通過し、男女各50名弱が集いました。

●皇后杯開会式にて

永谷 喜一郎 全日本弓道連盟会長

(代読 加藤出大会名誉会長)

競技力の向上はもとより真の弓道を普及発展させていく使命を背負った大会です。選手のみなさまは本体

会を通じてお互いに切磋琢磨するとともに地域の代表としての誇りを胸に全日本選手権の名に相応しい熱戦を繰り広げることを期待しています。弓道の技術の向上のみならず弓道を通じて社会に貢献される人材となられるよう願っております。

<採点審判委員の先生方>

川村 光良、久保田 清、戸羽 久之、澤田 欣一、
江郷 國紘、土佐 正明、佐竹 明美 (敬称略)



中央道場 2階控えから

・選手権に出場して

中央道場は5人立が2射場とれる大きな道場です。奥行もあります。出場が決まって、大きな道場にたった5つの的が設置されているその空間を想像するだけで宇宙空間を歩くような不安でいっぱいになりました。場に飲まれるのではないかと。しかも立順は休憩後の大前。不安ばかり募ります。思い切って中央道場の個人利用日を予約し8月下旬に東京へと向かいました。道場の滑り具合や景色・空気感を知り、一つ不安を払拭できました。大会前日の公式練習は、開会式の前に隣接する至誠館弓道場で。選手同士の雰囲気も良く、緊張感はあるけれど和やかでした。心配していた射の方もすっきりとした離れが出て良い感触。もう一つ不安を払拭した、つもりでした。しかし当日は想像以上に緊張したのか、鼓動が速くなって所作が速くなり、未熟な部分が身にしみて分かりました。練習方法を見直し体の使い方や道具についても準備してきたつもりでした。それでも大丈夫だろうかという不安が襲い体を固くしたようです。教本の「伸び合い」「会」の、疑い・不安・弱気・・・等の陰性の払拭ができなかったのです。最後の1本はまだ納得のいく矢でしたが、思うような離れが1本目から出せなかったことは心残りです。予選通過までまだまだ修練が必要です。

県内予選、近畿予選、そして選手権と、大会運営には大勢の皆様にお世話になりました。本当に感謝しております。長く辛抱強く指導してくださる先生も、一緒

に切磋琢磨してくれる仲間にも感謝します。

女子の閉会式には高円宮妃久子さまもご臨席され、皇后杯を優勝者に手渡されていました。羨ましく思いました。素敵でした。来年も出場できるよう、そして予選通過できるよう頑張りたいと思います。



高円宮妃久子さま(中央)、永谷会長(中央右)、
入賞者の皆さん

(奈良支部 松澤 和実)

橿原市弓道協会 観月射会

月夜に集い 楽しく弓を引く

9月27日(土)、橿原公苑道場に於いて、恒例の観月射会が開かれました。毎年大勢の参加者で賑わう観月射会ですが、今年は、先月弓道スクールを卒業したばかりの9名を含む、総勢68名が集いました。

この射会は得点制で、尺二的での一手と、兎や月が描かれた余興的での一射、金的での一射、計四射的的中を競います。的中点は、尺二的と余興的が一中1点、金的が一中2点とし、その合計得点で順位を決めます。同点の場合は低段者を上位とし、級段位が同じなら年少者を上位とします。

普段の練習より少し早い17時に集合し、準備・開会式の後、藤本錬士六段、森尾四段、清田四段による矢渡しが行われ、いよいよ行射が始まりました。

最初の一手では、無欲の低段者から景品のお酒狙いの高段者まで、束中者が計10名いました。次の余興的では、式段以下が大的、参段以上は八寸的で競い、束中者10名中4名が的中し、トップのまま最後の金的を迎えます。

金的の的中は2点となるため、ここまで一中の人も同点に追いつくチャンスがありましたが、見事金的を射抜いたのは、それまで余興的のみの中していた一人だけでした。結果は3点が最高得点となり、低段者から順に順位が決まり、優勝は初段の北山さん、二位は見事金的を射抜いた式段の三浦さんとなりました。

順位が決まったら、恒例の景品争奪戦です。優勝者か



ら順に好きな物を貰えるのですが、お酒やお米、季節の果物の他、会員の方々からの朝採れ野菜、手作りの弓巻やポーチ、竹製のかけやすめなど、沢山の景品を用意していただいたおかげで、ゼロ中だった私も景品をいただくことができました。

(橿原市弓道協会 角田 圭一郎)

<10月・11月の予定>

10月18日～20日

ねんりんピック岐阜2025(岐阜)

加藤 順三、小笠原 信義、加藤 敬子、

高柳 詩子、岡本 ハツ子

上記各選手が代表として参加されます。

10月24日～26日

第76回全日本弓道遠の選手権大会(東京)

男子 山口選手、前角選手

女子 白井選手、揚田選手 が出場

10月25日全国・近畿選抜女子個人予選(橿原市)

10月26日全国・近畿選抜男子個人予選(橿原市)

11月2日全国・近畿選抜団体個人決勝(橿原市)

11月2日

第26回布目弓道大会 第1回吉本清信杯

(布目弓道場 英明館)

11月3日

県近的選手権兼都道府県大会予選(橿原市)

編 | 集 | 後 | 記

少年女子が国スポという大舞台で活躍！立派でしたね！そして近畿大会では男女団体優勝！奈良県女子は3連覇中です。来年もぜひ繋げていきましょう！老若男女関係なくお互いを刺激し合い切磋琢磨していく弓道が楽しくて仕方ありません。これから講習会も試合も続きます。それぞれが楽しんで長く弓を続けられますように。

(編集担当 松澤 和実)